

概要/Overview 1

展覧会/Exhibition

"展対照 第二部 | Tentaishow Part 2" 佐内正史 / Masafumi Sanai



©2025 佐内正史

1997年に写真集『生きている』でデビューし、2003年『MAP』で木村伊兵衛写真賞を受賞した写真家・佐内正史。2008年より自主写真集レーベル「対照」から、多くの写真集を出版してきました。その出版物からセレクトした写真作品の展示販売を行う、Vacantでの展覧会シリーズ『展対照（てんたいしょう）』の〈第二部〉を開催します。

昨年の第一部に続き、今回は最新の写真集『写真がいつかえってきた』を中心に、『ARCA』（2008）、『パイロン』（2011）から選ばれた作品が並びます。佐内のアトリエで一枚一枚手焼きされる美しい写真プリントは、展対照特注の額装に収められます。

写真という存在の意味や意義が劇的に変化したこの数十年のあいだにも、佐内は一貫して「写真」を撮り続けてきました。いま一度、写真へとかえていくその道程では、どのような風景と言葉が導き出されるのでしょうか。

概要/Overview 2

〈EXHIBITION〉

"展対照 第二部 | Tentaishow Part 2" 佐内正史 / Masafumi Sanai

2025.2.14 fri - 3.10 mon 13:00-18:00

金一月オープン/Open Fri - Mon

at Vacant/Centre (東京都渋谷区元代々木町27-6)

入場無料/Admission Free

<https://www.vacant.vc/event/tentaishow2>

佐内正史 / Masafumi Sanai

写真家。1968年静岡生まれ。1995年第12回キヤノン写真新世紀優秀賞受賞、1997年に写真集『生きている』（青幻舎）でデビュー。2003年、写真集『MAP』（佐内正史写真事務所）で木村伊兵衛写真賞を受賞。2008年に自主写真レーベル「対照」を立ち上げ、これまでに数多くの写真集を発表している。国内外で展示やライブパフォーマンス行う他、曾我部恵一とのユニット「擬態屋」で、佐内の詩と曾我部の音合わせをしたサウンド作品『DORAYAKI』（2021年）をリリース。2024年には映画『i ai』（監督・脚本：マヒトゥ・ザ・ピーポー）の撮影を手掛けるなど、多方面に活動が続いている。

主な個展：「静岡詩」静岡市美術館（静岡、2023年）、「ラレー」NADiff a/p/a/r/t（東京、2012年）、「対照 佐内正史の写真」川崎市岡本太郎美術館（神奈川、2009年）など。

主なグループ展：「日常のなかの予期せぬ素敵な発見」東京都写真美術館（東京、2023年）、「2020 Seoul Photo Festival: Unphotographical Moment」ソウル市立北ソウル美術館（ソウル、2020年）など。

www.sanaimasafumi.jp | www.instagram.com/sanaimasafumi

〈Vacant〉

ある空間を「場」へと変容させる、文化的な営みの考察と実践のため、2009年に東京・原宿にプロジェクトスペース「Vacant」をオープン。10年間の活動を経て2021年に新たな拠点「Vacant/Centre」を設立。Centre/Multiple/Worksを活動の軸として、多様な「場づくり」(=Place Design)を進める。

<https://www.vacant.vc/> | <https://www.instagram.com/vacant.vc/>



©2025 佐内正史